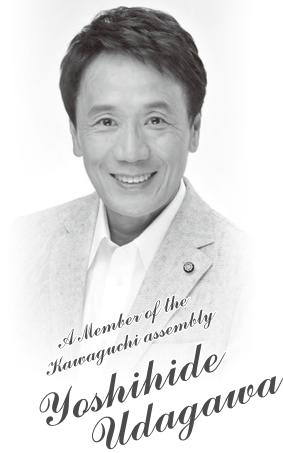


討議資料

宇田川よしひで

市議会ニュース

vol.99
2022年7月



「沢山の人の沢山の幸せを見たいから
今までもそしてこれからも頑張ります」

令和4年第2回

6月市議会定例会

施政方針

令和4年6月2日～

6月27日までの26日間

市長提出議案

今回提案いたしました議案は、予算議案2件、条例等の一般議案32件です。予算議案については、一般会計において、総合文化センター維持補修費等に係る43億4391万円の補正、特別会計では、小型自動車競走事業特別会計において、1億9250万円の補正。

一般議案については、「川口市税条例等の二部を改正する条例」など、条例議案7件、契約議案5件、財産の取得議案4件、専決処分の承

認議案5件、公の施設の指定管理者の指定議案3件、市道路線の認定及び廃止議案6件、人事議案2件を可決しました。

川口駅周辺まちづくりビジョンについて

川口駅周辺の整備の指針として、昭和58年に策定した「川口駅周辺市街地整備構想」に基づき、東西口の再開発や歩行者用デッキ、環状道路の整備等様々な事業を推進してきました。この構想の策定から40年が経過し、人口流入や社会情勢などの変化に伴い、利便性や安全性などに課題が生じてきたところです。

こうした中、優先的に取り組むべき事項やその実現に向けた方策を示すため、昨年7月に検討会を設立し、議論を重ねた結果、本年3月に「川口駅周辺まちづくりビジョン」を新たに策定し、中距離電車の川口駅停車等を目的とした交通拠点のリニューアルや、生涯を通じて楽しく豊かな時間を演出する、多目的文化芸術拠点の増設・整備など、5つのプロジェクトを掲げ取り組めます。



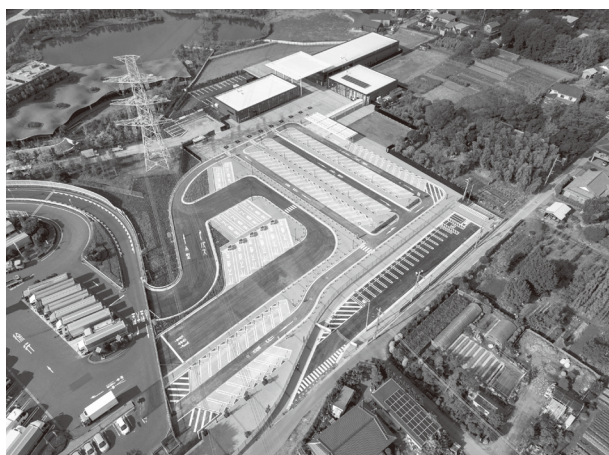
イイナパーク川口について

川口パーキングエリアと連結し、一体的に整備した首都高速道路初のハイウェイオアシスが完成したことにより公園全体が開園しました。これにより、一般道からだけでなく首都高速道路からもアクセスが可能となり、高速道路を降りずに公園や地域を散策することができるようになったところです。新たに建設された商業施設では、川口の舗物で作られた羽釜で炊き上げたご飯が提供されるとともに市内の名品も取り揃えられているほか、関東最大級の全天候型の親子の遊び

場「アソブーン」には、シンボルとなる大型遊具、川口の植木など自然を感じられる中でのままごと遊びや読み聞かせのできる場所などが設置されており、大人から子どもまでが楽しめる水と緑のオアシス空間となっています。



イイナパーク川口



川口ハイウェイオアシス 全景



川口ハイウェイオアシス

継続的に地域経済の好循環を創出する支援策として、過去最大級の発行総額となる24億円規模のプレミアム商品券事業を支援します。これまで新型コロナウイルス感染症の影響により、売上げが減少している飲食店や生活関連サービス業等における更なる消費を促すなど市内経済の底上げを図っていきます。

「元気」川口商品券について



イイナパーク川口 案内図

川口市立高等学校 について

今年の3月には、校舎・グラウンドを含めた全ての施設整備が完了し、生徒が充実した学校生活を送ることができ環境が整ったところでは、そのような中、令和3年度の国公立大学の合格者数は、前年度の35人を大きく上回って50人となり、着実に進学実績を伸ばすことができました。

さらに、今年度は、開校前から目標の一つであった文部科学省の「スーパーサイエンスハイスクール」に指定されることとなりました。これは、将来の国際的な科学技術人材の育成を図るため、文部科学省

が先進的な理数系教育に重点を置いた指導やカリキュラムの研究開発を行う学校を支援する事業で、全国の名立たる進学校と同等の指定を受けたものです。これまでも川口市立高等学校では、理数科を中心に自ら課題を発見し、考えるプロセスを重視する授業を先行して取り入れてきましたが、今後5年間の指定期間では、多くの大学や研究機関と連携しながら、体験学習や実験、考察、成果発表といった、研究者と同様の手法を用いた授業の体系を構築し、この実績をモデルケースとして普通科へも展開していきます。また、市内小中学校へも情報発信するなど、

科学分野への興味関心に繋がる取り組みを進めていきます。生徒たちには、国内外での研修や全国的な研究発表会、コンテストへの参加を通じて、知的好奇心を刺激し合える同世代の仲間と交流し、互いに切磋琢磨しながら、科学的視野を広げる機会にしてみらいたいと考えます。

※これまでの内容は市長の所信と報告を抜粋・加筆して作成しております。

「日勤救急隊」の 試行運用が始まります

増加傾向にある救急要請に的確に応えるため、1日のうち、救急要請が多い(48.2%)時間帯に特化した「日勤救急隊」創設に向けた試行運用が令和4年

7月1日(金)9時30分から15時00分までの間で「救急・救命体制のさらなる充実強化」に向け実施されます。

なお、この試みは市民サービスの向上と、24時間交替制勤務が困難な「育児」を担う女性職員や「介護」を担う職員及、定年延長に伴う多様な働き方改革も目的のひとつです。



※あくまでも救急隊のイメージ写真であって、記事とは関係ありません。

ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチン接種の積極的勧奨再開に伴う キャッチアップ接種及び任意接種費用助成について

平成25年6月からHPVワクチン接種の積極的勧奨が国の勧告により差し控えられてきたが、令和4年4月から積極的勧奨が再開されたことに伴い、公平な接種機会を確保する観点から、接種機会を逃がした方に対し、キャッチアップ接種を実施するとともに、積極的勧奨を差し控えてきた間に接種を受けた方に対し、任意接種費用の助成を実施するもの。

1. キャッチアップ接種

- (1) 対象者／川口市に住民登録のある、平成9年度から平成17年度生まれの女子
- (2) 対象者数／20,546人
- (3) 接種見込み／10,273人
- (4) 接種回数／3回(1人当たり)
- (5) 接種委託料／17,310円(1回あたり)
- (6) 接種期間／令和4年4月から令和7年3月
- (7) 接種場所／市内医療機関(約60箇所)等

2. 任意接種費用の助成

- (1) 対象者／川口市に住民登録のある、平成9年度から平成16年度生まれの女子
- (2) 対象者数／①2回助成対象350人 ②1回助成対象950人
- (3) 助成額／任意接種に要した費用(川口医師会との定期予防接種委託料を限度とする)

編集発行

川口市議会議員

宇田川 好秀

埼玉県川口市安行1117

TEL.048-294-3131 FAX.048-296-7070

印刷/コスモプリンツ株式会社

市政情報
発信



<http://gakkainavi.com/udagawa/report.html>

宇田川レポート更新中!!